

『食後高血糖を考えた治療のあり方』

糖尿病の発症に先行する食後高血糖は、動脈硬化性疾患の重要な危険因子である。この食後高血糖について、病態的意義およびその指標、さらに血管障害との関連を解説し、その診療の進め方について考えてみたい。

第53回日本糖尿病学会年次学術集会
ランチョンセミナー 29

日時 2010年5月28日(金)
12:10~13:00

会場 第10会場
岡山全日空ホテル 19F スカイバンケット
岡山県岡山市北区駅元町15-1

食後高血糖を考えた 治療のあり方

座長 **門脇 孝** 先生
東京大学医学部附属病院 副院長
東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授

演者 **松久 宗英** 先生
徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター教授

共催 第53回日本糖尿病学会年次学術集会
第一三共株式会社

第53回日本糖尿病学会年次学術集会
第一三共株式会社共催セミナーのご案内

1. ランチョンセミナー 2

日時: 2010年5月27日(木) 12:30 ~ 13:20
会場: 第3会場 ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル
テーマ: **糖尿病腎症の治療戦略**
—特にARBの臨床的意義について—

2. ランチョンセミナー 29

日時: 2010年5月28日(金) 12:10 ~ 13:00
会場: 第10会場 岡山全日空ホテル 19F スカイバンケット
テーマ: **食後高血糖を考えた治療のあり方**

3. ランチョンセミナー 46

日時: 2010年5月29日(土) 12:00 ~ 12:50
会場: 第9会場 岡山全日空ホテル 1F 曲水の間
テーマ: **ARBとCCB併用療法の新たな潮流**
～最適な高血圧治療を目指して～